

第3回三木市教育振興基本計画検討委員会 意見要旨

1 開催日時

令和7年10月31日（金） 午後7時～午後8時15分

2 開催場所

三木市立教育センター 4階 大研修室

3 意見要旨

(1) 「第4期三木市教育振興基本計画」（案）について

（主な意見）

- 基本施策の評価指標について、少子高齢化が進む中、来館者数などの増加を目標とすることが厳しいことは理解する。一方で、「満足度」という主観的な内容を評価指標とするのであれば、市民から理解の得られる指標の取り方をしないと、少ない人数の主観的な満足度で事業を実施するということでは、事業効果を表すのが難しくなると考える。

評価指標の取り方を検討し、事業効果・事業評価がしっかりとできるような仕組みにしていきたい。

- 指標を満足度とした評価指標については、その母数となる人数が多いか少ないかで数字の重みが変わってくる。このため、「三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書」に毎年度の実績値を記載する際は、根拠となる対象者数などを欄外に記載するほうがよいのではないかと。

- 評価指標の「前年度比増」という表現では、どのあたりを目標にしているのかが分かりにくいため、数値で目標値を掲げるほうが事業に取り組みやすいのではないかと。

- 今回の計画の見直しポイントとして「ウェルビーイング（Well-being）」という言葉が挙げられているが、計画の中にその言葉が見当たらない。

「ウェルビーイング」の考え方を基に計画を立てていることを記載しておれば、計画がより分かりやすくなると考える。

- これまで学校部活動が担ってきた教育的意義や役割を地域クラブの各団体が継承していくという議論が進んでおり、また、そのことを各団体にも共有できているという認識でよいのか。

(2) 「第４期三木市教育振興基本計画」（案）に係るパブリックコメントの募集について

（主な意見）

- 提出方法が意見提出用紙又は電子メールとなっているが、デジタル技術を活用するなど意見の言いやすい手法は検討しないのか。